

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原5丁目計画	階数	地上11F
建設地	相模原市中央区相模原5-283-17ほか	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	110人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年8月 予定	評価の実施日	2016年3月18日
敷地面積	387㎡	作成者	グラビス設計
建築面積	217㎡	確認日	2016年3月22日
延床面積	2,039㎡	確認者	グラビス設計

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項	
総合 周辺の住環境に配慮しながら、環境負荷の軽減に努める	その他 0
Q1 室内環境 防音性能を高め、室内の防音化に努める	Q2 サービス性能 バリアフリーに配慮し、建物の使いやすさを高める
Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に極力空地を確保し、共用部分にゆとりを持たせる	
LR1 エネルギー 住戸内の断熱性能を高め、建物の省エネルギー化を図る	LR2 資源・マテリアル 解体時のリサイクルに配慮し、躯体と仕上材が容易に分別可能な納まりとした。
	LR3 敷地外環境 外部照明の増設に努め、防犯活動に協力する。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される